

作 樂

第 211 号

平成30年11月10日号

特別養護老人ホーム 作 樂 莊

〒441-8066 豊橋市王ヶ崎町字上原1番地145
TEL (0532) 48-5111・FAX (0532) 48-5112

職員旅行B班 昇仙峡の仙娥滝を背に全員そろって記念撮影

目

次

障がい者雇用	障がい者の雇用促進……	2
アコニス社労士事務所長	伊藤 恒	3
リハビリ調整	理学療法士吉田	4
老健ヘルパーハイツ	理学療法士吉田	5
敬老会	行委員会委員長	杉本 昌洋
作楽荘の敬老会	藤田慎之介	
美光ハイムの敬老会	青山 勉	
B.V.H.の敬老会	中野 友一	
作楽荘の敬老会	介護士 神谷 晃紹	
特別養護老人ホーム 作楽荘 介護士	介護士 介護士 森 繁幸	
職員旅行	介護士 森 繁幸	7
最高の職員旅行	特別養護老人ホーム 作楽荘 介護士 高倉 克和	
特別養護老人ホーム 作楽荘 介護士 高倉 克和	特別養護老人ホーム 作楽荘 介護士 高倉 克和	
思い出一杯、和気藹々の旅路	特別養護老人ホーム 作楽荘 介護士 高倉 克和	
ディサービスセンター 作楽荘 介護士 川田 弘子	特別養護老人ホーム 作楽荘 介護士 高倉 克和	
ふるさとの旅	特別養護老人ホーム 作楽荘 介護士 高倉 克和	
シリーズ② 戦国期 遠江・浜名湖周辺の城郭(後編)	特別養護老人ホーム 作楽荘 介護士 高倉 克和	
老健ヘルパーハイツ 生活相談員副主任 高橋 初典	特別養護老人ホーム 作楽荘 介護士 高倉 克和	
老健ヘルパーHYT 言語聴覚士 本田 雄一	特別養護老人ホーム 作楽荘 介護士 高倉 克和	
施設だより	特別養護老人ホーム 作楽荘 介護士 高倉 克和	
* 作楽荘 長寿の芭野さん	特別養護老人ホーム 作楽荘 介護士 高倉 克和	
温もり伝える「レボラティブアート」	特別養護老人ホーム 作楽荘 介護士 高倉 克和	
* 美光ハイム	特別養護老人ホーム 作楽荘 介護士 高倉 克和	
* オーダムコムサート	特別養護老人ホーム 作楽荘 介護士 高倉 克和	
* 俱楽部	特別養護老人ホーム 作楽荘 介護士 高倉 克和	
* 初めての外部研修	特別養護老人ホーム 作楽荘 介護士 高倉 克和	
* GHくらら 笑顔いっぱい俱楽祭	特別養護老人ホーム 作楽荘 介護士 高倉 克和	
* 斯楽荘 温めのBBQ	特別養護老人ホーム 作楽荘 介護士 高倉 克和	
* 防犯教育講座を受けて	特別養護老人ホーム 作楽荘 介護士 高倉 克和	
* ベルヴューハイツ 心も身体も大満足のBBQ	特別養護老人ホーム 作楽荘 介護士 高倉 克和	
* 秋のフランクス体操	特別養護老人ホーム 作楽荘 介護士 高倉 克和	
* D.S.C.吉かわ	特別養護老人ホーム 作楽荘 介護士 高倉 克和	
* 吉かわの宝探し	特別養護老人ホーム 作楽荘 介護士 高倉 克和	
* 麗楽荘 ラグーでついた自信	特別養護老人ホーム 作楽荘 介護士 高倉 克和	
* 和光ハイム 親の意見と茄子の花	特別養護老人ホーム 作楽荘 介護士 高倉 克和	
* せんさい作りと由来	特別養護老人ホーム 作楽荘 介護士 高倉 克和	
* お彼岸のおはぎ作り	特別養護老人ホーム 作楽荘 介護士 高倉 克和	
* 知ることの大切さ	特別養護老人ホーム 作楽荘 介護士 高倉 克和	
* G.H.きらり R.U.N伴2018.3新城	特別養護老人ホーム 作楽荘 介護士 高倉 克和	
施設日誌／編集後記	看護師 榛原千絵子	
18 20	鈴木 裕佳	
18 20	中村 美里	
18 20	桑山 恵利	

障がい者雇用

障がい者の雇用促進

アイエス社労士事務所 所長 伊藤悟

今の時代、多様性（ダイバーシティ）という価値観の浸透から、障がいをお持ちの方々にも分けてなく社会の中で活躍する場を提供する努力をする団体が行うしくみとなつてきました。障がいをお持ちの方の雇用を促進しようという法令があります。そうした中で、つい先日、障がい者雇用について国や地方公共団体がその雇用人數を水増ししていたというニュースが流れました。普段労務管理を担当している私がらすると、大変驚くべきニュースであり、お堅いお役所がこんなことを！……といった心境です。

現在、民間企業には法定雇用率22%が課せら
れています。これは、従業員45.5人について1人の障がい者を雇用しなければならない計算となります。一方、国や地方公共団体は、民間企業の模範たらねばならないと
いうことで、これより高い25%と設定されています。法定雇用率未達成の企業には、公共職業安定所の幹部クラスと雇用指導官が直接出向いて、「なぜ雇用を達成できないのですか？」達成するための改善策を検討して下さい」などの行政指導が実施されます。

こうした対応ですから、私は当然のことながら、国や地方公共団体は適正に雇用しているものとばかり思つておりました。

さて、私の事務所でも昨年男性スタッフを雇い入れたのですが、紹介を受けた職業安定所からは、本人が障がいをお持ちである旨の連絡を受けていました。雇用開始後のある日、本人が顧客トラブルを起こし、結果として本人から障がいを有している旨の告白がありました。そこで私は職安に「なぜ採用時に障がいをお持ちであることを教えてくれなかつたのですか？」と尋ねたところ、

「面接で障がい者であることを告げるときつと採用されないだろうから、隠しておきなさい」と本人に言つたそうです。

私は啞然としました。仕事をしつかりやつてくれさえすれば、障がいをお持ちであつたとしても採用するつもりでしたし、事実その後には雇用もしています。私の所のようない小さい事務所についてですが、こうした隠し事案があつたわけです。

今回の水増し事案においては、障がい者をお持ちの方々やご家族の気持ちいかばかりであったでしょうか。障がいをお持ちの方々の思いに水を差すような事態は起こさないよう改善し、国民の皆様の信頼を回復し、ひいてはその雇用促進に真摯に邁進して頂くことを強く願つております。

作 樂

リハビリ講座

脳卒中 その③

老健ベルヴューハイツ 理学療法士主任 杉 本 昌 洋

3年ほど前、北海道へ

旅行に行つた時の飛行機
内の出来事です。目的
地に近づき飛行機が下降
をはじめてしばらくする

と、右眼の下あたりの一
点がむずむずしてきました。
そしてそれは顔面の
しびれとなつて広がり、

次に目の奥の刺すような
痛みへと続き、さらに急
速に強くなる頭痛が出現
しました。その症状はす
べて右側に起こりました。
大いに焦りました。

そのような状況でも、
眼下に見える白く雪化粧
された下北半島がとても
美しく、いまでも鮮明に
脳裏に焼き付いています。



機上から望む下北半島

我慢していました。

頭痛はかつて経験したことのない痛みでした。
くも膜下出血の頭痛でも
しばしば同様の表現がさ

れることがあり、バット
や金づで殴られたよう
な痛みとも云われます。
そのような激烈な痛みで
はないのですが、ピーケ

時より減少してきました。
また両手両足は左右同じ
様に動かせます。つまり
運動麻痺はありません。
感覺麻痺や視力の問題も
なく呂律も回ります。そ
のことが安心感につなが
りました。着陸態勢に入
った頃にはさらに頭痛は
軽くなり、荷物を受け取
る頃には消えていました。

帰宅後は真っ先にイン
ターネットで検索です。
その結果、飛行機頭痛の
見つけました。医学辞典
やその他の文献でも調べ
てみましたが、記載され
ていませんでした。

重大な病気が潜んでい
るのでしょうか？ 脳卒
中の前駆症状なのでしょ
うか？ 次回に続きます。

できました。しかし帰り

も飛行機に乗らなければ
なりません。今度はきっと
と大丈夫だと自分に言い
聞かせながら、そして新

千歳空港でお酒の力を借り
て飛行機に乗り込みま
した。行きよりも症状は
軽かったのですが、残念
ながら同様の症状が現れ
ました。もう飛行機での
旅行は無理なのだろうと、
大いに落胆しました。

また。もう飛行機での
旅行は無理なのだろうと、
大いに落胆しました。

北海道旅行ならではの
温泉と景色そして美味し
い食事など、十分に堪能

するのでしようか？ 脳卒
中の前駆症状なのでしょ
うか？ 次回に続きます。

敬老会

行事委員長 藤田慎之介

皆さんの勇壮な和太鼓の披露には、入所者さん達も楽しそうに聴き入つていました。「音が心地よかつた」などの感想がありました。和太鼓の演奏も終わると、閉会の言葉で締めて、作楽荘の敬老会は無事終了しました。

9月17日、作楽荘新館3階にて敬老会を開催いたしました。

後藤荘長が声高らかに開会宣言をし、いよいよ敬老会は幕を開けました。

来賓の方から激励の言葉をいただいた後、入所者さんへのプレゼント贈呈。理事長から代表の安田由美子さんが受け取られました。続いて、来賓の方々へのお礼の言葉を、金沢順子さんが代表して述べられました。

アトラクションに移り、職員有志による「よつちよれ」の踊りはかなりの見ものでした。次に登場した「やぐるま太鼓」の



素晴らしい演奏に感激です

美光ハイムの敬老会

ハウス長 青山 勉

100歳以上のお年寄り約7万人にも驚かなくなつた昨今、今年も敬老会を盛大に開催しました。



紅白の垂れ幕に華やぐ宴席

敬老会当日の理事長は、午前中に新城の麗楽荘・和光ハイム、次いで豊橋の美光ハイム・作楽荘及びBVHにて、挨拶や記念品贈呈の役割をこなされました。八面六臂の大



いつまでもお元気で…

活躍で、感謝の至りです。

宴席には豪華なご馳走と共に、後藤荘長からの心尽くしの天然鮎の天ぷらが並びます。皆さん喜色満面、箸が進みます。

アトラクションでは、才能教育研究所の生徒さんのヴァイオリン演奏に拍手喝采。森田後援会理事の生徒さんの工夫されたリズム遊びの余興には、皆さん腹を抱えて大笑い。終始笑顔が絶えない楽しい敬老会となりました。

B V Hの敬老会

介護士 中野友一

声掛けしてみると、「嬉しくて泣けてきたよ」とおしゃっていました。

9月17日の敬老の日、ベルヴューハイツで敬老会が執り行われました。夏目事務長による開会の辞で始まり、心のこもつた理事長からのご挨拶、来賓の方々からのご祝辞がありました。続いて入所者代表の白井和子さんが謝辞を述べられ、付き添つていた私の方が緊張してしまいました。



「吉かわ太鼓」の大熱演

私も初めての参加で、貴重な体験をさせていた

だきました。感謝です。

とができました。

まず第1部の式典は、敬老会の司会が初めてでたどたどしい私の進行で始まりました。

滝川理事長からご挨拶、ご来賓の方々からご祝辞を頂きました。職員の皆様の協力のおかげで、淀みなく式典を進行することができました。

式典後の第2部アトラクションは、山地区・白

子地区の子供さん達によ

る「山・白子歌舞伎」と、新城高校吹奏楽部の皆さんによる演奏会です。

麗楽荘の敬老会

介護士 神谷晃紹

雨が降つたり止んだりはつきりしない天気が続く中、麗楽荘敬老会当日の9月17日、新城市矢部地区は朝から青空が広がる爽やかな日を迎えるこ

とができました。観客から拍手喝采と大歓声を受けて、おひねりが飛び交っていました。



白波五人男の勢揃いに大歓声

作 樂

事業所紹介

「暮らしの継続」を目指して

特別養護老人ホーム奇楽荘 介護士主任 森 繁幸

奇楽荘は一誠福祉会としては3施設目、新城市としては初となる地域密着型ユニット型特別養護老人ホームとして、平成26年4月25日に一鉢田で開設いたしました。



開設より5年目の奇楽荘

ユニットケアの特徴の一つは、「少人数のユニットに分かれて介護をす

る」ことです。

奇楽荘でも少人数グルーブ（10人以下）をひとつの生活単位（ユニット）として区分けし、1ユニットごとに居住空間を設

け専任の職員を配置することにより、小規模生活単位の家庭的な雰囲気のなかで、きめ細やかな介護ケアを行うことを目指しております。

もうひとつ、ユニットケアでは「個別ケア」が求められます。大規模な介護施設では、入居者に対するようになつたそうですが、数人で買い物に行き、食事を作り、小さなグループを囲んで食事をとる、そうした光景がごく普通の家族の日常風景を想起させ、今の「ユニットケア」の基礎になつたということです。

奇楽荘でも少人数グルーブ（10人以下）をひとつの生活単位（ユニット）として区分けし、1ユニットごとに居住空間を設けるを得ない面がままあります。施設の日課に沿った集団的に行動して日々が過ぎていくので、家で暮らしていた時のように自分自身で生活リズムを決める事はなかなか難しいという問題です。

そういう問題を解消するためにも、ユニットケアでは「個別ケア」が求められます。奇楽荘では個人の生活リズムを尊重するために、部屋は全室個室でプライバシーが確保されています。個室の先にはコミニニケーションの場もある専用のリビングスペースがつくられています。そのため、少人数であつても他者とのかかわりが断たれることがあらがりません。

起きたい時に起き寝たい時に寝る、そんな当たり前の自宅での生活である「暮らしの継続」が実現できるよう、スタッフ一同で頑張っていきたいと思っています。

最高の職員旅行

特養俱楽部介護士 高倉 克和

10月16・17日、これから5回実施するその先陣を切つて、幹事の大役まで仰せつかりA班の職員旅行に参加しました。

今年は山梨県の観光を

通して、職員相互の交流を深めます。A班は日程の関係からか参加者が少な目でしたが、逆に落ち着いた雰囲気で旅行を楽しむことが出来ました。

天候は晴天とは言えない

までも雨も降らずにまづ

は上々。行きのバスでは、

冠雪の富士山を見る事ができラッキーでした。

八ヶ岳チーズ工房・昇仙峡・マルス酒造を巡り

土産を沢山買ってから、



カラオケでも大盛り上がり

一番楽しみにしていた石和温泉に到着しました。

長時間の長旅に疲れたの人達とお風呂に向かい

ました。少し肌寒くなつてきた外気にぴったりの露天風呂に入ると、身も心も元気になりました。

そして夜の宴会。お酒

も入ってきた少人数の集まりとあって、初めて会

う他施設の皆さんともす

ぐに打ち解け、とても樂

しいひと時を過ごすこと

が出来ました。最高の職員旅行になりました。

高速道路を走るバスが

飯田あたりに差しかかる

と、すでに雪が積もつて

いる南アルプス連峰が望

め、その山頂の下方には

雲海が広がっているとい

う、めったに見られない

景色に、心を打たれました。

すぐ感傷に浸るのは歳の

せいかなど思いつつ…。

ささらに走ると今度は笠雲

のかかつた富士山が現れ、「頭を雲の上に…」の童

思い出一杯、和氣藹々の旅路

デイ作楽荘介護士川田 弘子

一誠福祉会木の花会

(職員福利厚生会) の職員旅行に参加しました。

今回のA班は参加者20名と少なく、そのうち女性は何と4名! 恵まれた

旅行であります。

旅館の宴席では主幹事

の小池さんのアイデアで、マイクを持った人が他人

を紹介していく形式をと

って、全職員を知ること

もでき楽しい宴でした。



職員旅行A班 水陸両用バスで山中湖遊覧

謡そのもの。「この富士山は珍しいですよ。見られて良かつたですね」とのガイドさんの弁でした。

ふるさとの城郭
シリーズ⑯ 戦国期遠江・浜名湖周辺の城郭(後編)

老健ヘルヴューハイツ生活相談員副主任 高橋初典

今回で「戦国期遠江・浜名湖周辺の城郭」連載も最終回となります。

まずは、掛川市南部に

ある「高天神城跡」です。

戦国時代末期には、武田信玄・勝頼父子と徳川家康が激しい争奪戦を繰り広げ、「高天神を制する者は遠江を制する」とまで云われた名城です。

詳しい築城年は分かつていませんが、十六世紀



遠州 高天神城の登城口

の桶狭間の戦いで今川義元が討ち死にすると、駿河・遠江の二国へ武田信玄と徳川家康が同盟して侵攻を開始します。今川家当主の氏真は、抵抗するも徳川家康の庇護下に入り、遠江の今川支配は終わりを告げます。また、高天神城の城代であった小笠原氏助も徳川氏に従



高天神城の本丸虎口跡

武田信玄の死後、跡を継いだ勝頼は、天正二年(1574年)に高天神城を攻撃し二の丸が落城します。小笠原氏助は徳川・織田の援軍を期待しましたが、徳川単独で援軍を出す力はなく、織田軍も各地で一向一揆と対峙しており援軍を送る事

が出来ませんでした。こうした状況に絶望した氏助はついに降伏し、高天神城を開城しました。これが第一次高天神城の戦いです。父の信玄でも落とせなかつた高天神城を落城させて、当時の武田勝頼の武名を大いに上げる事となります。

しかし勝頼は、翌天正三年(1575年)、長篠の戦いで織田・徳川連合軍に大敗北を喫します。また勝頼は上杉氏との関係も悪化し、それを見た家康は高天神城を奪い返

ります。しかし、間もなく武田・徳川両氏は敵対関係となり、駿河・遠江の国境近くにある山城の高天神城は、その角逐の舞台となっています。



高天神城の堂尾曲輪から北へと続く土塁跡

す事を画策します。

そして、天正八年（1

580年）九月、徳川軍は満を持して高天神城を攻撃します。城を守る岡部元信が千の軍で籠城して抗戦するも、兵糧攻めにあって兵の士気は著しく衰え、逃亡する城兵が続出しました。



高天神城の三日月井戸跡

勝頼は東西に敵を抱える状態で援軍を送れず、三月、城兵の抵抗も虚しくついに落城します。籠城側は徳川軍に降伏する矢文を何度も送りました



高天神城の抜け道となつた「犬屁り猿屁り道」

現在の高天神城は、本丸は勿論のこと各曲輪跡や土壘、横堀や堀切、井戸跡まで大変良好な状態で残っています。また、非常に城を抜け出す

「犬屁り猿屁り道」が一kmにも渡って残存しています。左右は深い谷にな

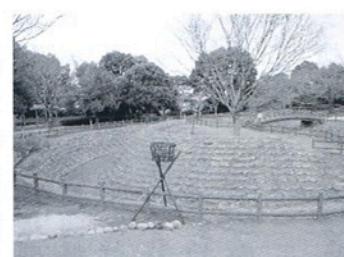
が、それを拒否しての総攻撃でした。家康は元々降伏を受け入れる意志でしたが、織田信長への忖度が働き、断腸の思いで降伏を拒否したと伝わります。これが第二次高天神城の戦いです。

現在の高天神城は、本丸は勿論のこと各曲輪跡や土壘、横堀や堀切、井戸跡まで大変良好な状態で残っています。また、非常に城を抜け出す

「犬屁り猿屁り道」が一kmにも渡って残存しています。左右は深い谷にな

つてるので、自信の無い方は見るだけにしておいた方がよいでしょう。

現在は、能満寺山公園として整備され、犬山城を模した三層五階の天守閣が聳えています。武田式築城術が随所に見られる城ですので、一度訪れてみる価値はあります。



遠州 小山城の縄張りに
ある丸馬出しと三日月堀

次は、榛原郡吉田町にある「小山城跡」です。元々は今川氏の砦が築かれていましたが、高天神城の存在感が増すと、その物資の補給拠点の要として武田氏重臣である馬場美濃守信春の縄張りによって大拡張されます。



小山城本丸跡に建て
られた模擬天守閣

城は湯日川に面した舌状台地上に築かれ、本曲輪・二の曲輪・三の曲輪からなる連郭式の縄張りです。武田氏築城術の特

徴である丸馬出しと三日月堀を持ち、三重の三日月堀は内側からの幅七m、九m、十mを誇り、土壘

として整備され、犬山城を模した三層五階の天守閣が聳えています。武田式築城術が随所に見られる城ですので、一度訪れてみる価値はあります。

現在は、能満寺山公園として整備され、犬山城を模した三層五階の天守閣が聳えています。武田式築城術が随所に見られる城ですので、一度訪れてみる価値はあります。

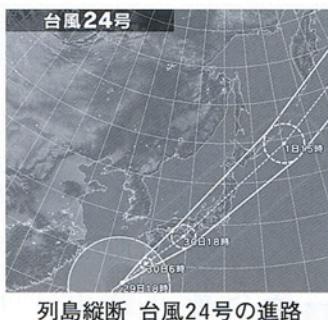
シリーズ—口から始まる介護⑥

老健ベルヴューハイツ 言語聴覚士 本田 雄一

当誌前回号では、高齢者の水分不足とその影響、特に認知症や言語障害の方など、自らの意思が表出困難な方への十分な水分提供の必要性についてご説明しました。

ところで、今夏は記録的な猛暑となり、更には、近年にない大きな災害が各地で起きたのも記憶に新しいところです。

7月の西日本豪雨災害では河川の氾濫や浸水害、土砂災害が発生。9月に入ると、北海道では最大震度7を記録する地震が起きました。そして、台風24号の日本列島縦断でも、各地停電や断水など



列島縦断 台風24号の進路

の被害が大きく拡がり、特に当地東三河地域や静岡県西部では被害も顕著で、4～5日にわたる停電も珍しくない状況など大変な思いをしました。

1995年の阪神淡路大震災では、震災関連死（災害による直接の被害ではないが、直接の死因と灾害とに因果関係が認められるもの）における肺炎の割合が約4分の1を占めました。この時の反省から、災害時の口腔ケアのボランティアという概念も生まれました。

私自身、当施設の利用者の方々から、高潮の影響を避けるために公民館へ避難されたという話をお聞きすることもありました。そこで今回は、災

害時の対応について考えてみたいと思います。

災害時に避難所生活が長引くと口腔ケアが不十分になりやすく、口中の細菌が急増します。それと共にストレスなどによる免疫力低下なども重なり、誤嚥性肺炎にかかりやすくなります。

以上のような点から、水や食料だけでなく、防災グッズの中に口腔ケア用品も入れておくことをお勧めします。歯ブラシや口腔ケア用ウエットティッシュなどですが、もし無い場合は食べた後に口をゆすぐだけでもよいと思います。

「Be prepared.(備え常に)」という、防災に向けたスローガンが今こそ

がちですが、高齢者や障害の方にとつての口腔ケアの有無が生命の危機に繋がってしまうという事実は、意外な盲点といえるでしょう。もっとも、口腔ケアの重要性が災害時に限った話ではないことは、皆様ご存知の通りであります。

施設だより

○長寿の笹野さん

特養介護士 永井佳子

今回は、大正六年生まれで御歳百一歳になられた、作楽荘特養入所者の「笹野とく」さんにスポーツを当ててみました。

息子さんに生歴をお聞きすると、六十歳頃から狭心症を発症し、また胃の調子も悪くて毎月定期的に通院していたそうで、どちらかと言うと身体は弱かったとの事。

そして、八十八歳頃からは認知症の症状が出現して、自宅での介護が困難になったため、平成二十五年から当施設のショートステイを利用。ところが、これがまた不思議

な事に、認知症のおかげと言つて良いのか悪いのか、心臓の痛みも無くなり体調も改善されて、「なんと不思議な人なんだ」と、ご家族の皆さんは思つたそうです。

今現在、食事は介助ですが殆ど完食で、手足の力も強く、喜怒哀樂の表情も含めて意思表示はしつかりされています。

あのつぶらな瞳の奥底から、私達に「もつとしつかり頑張んなさい！」といつも語りかけてくださつているようです。



滝川理事長と敬老会で

○温もり伝える リフレボランティア

リフレ 本村亜久理

「あー気持ちいい！温かい！」といった満ち足りたご様子の語り口とともに、利用者さんのお顔がポツッと明るく笑顔になります。足湯とリフレトリートメントによる、お一人15分という短時間のボランティアですが、やる側の私も心和み癒されるひと時です。言葉は交わさなくとも、手の温もりから伝わるこの心の交流は、不思議なパワーを秘めています。

リフレクソロジストになつて14年目を迎えますが、作楽荘ショートステイさんでのボランティアも10年になりました。

スタッフのみなさん、いつもご協力頂きありがとうございます。



リフレは心和むひと時です

○ 美光ハイム

○ オータムコンサート

介護士 萩森 明子

9月29日、美光ハイムの5階に於いて「オータムコンサート」を開催しました。

御津出身で現在東京を拠点に活躍されている、ソプラノ歌手の山口ルミさんと、地元豊橋で活躍されている、ピアノ演奏者の中村はるみさんのお2人をお招きしました。ルミさんのリハーサルがスタートすると、入居者の方が次々と会場に集まって来られ、早くも超満員。本番ではドレス姿のルミさんとはるみさんが登場した途端に会場が華やかになり、皆さんうつとりされていました。

音楽会が終わると、記念撮影をしたりティーダイムでお話ししたり、とても楽しく貴重なひと時を過ごしました。ルミさん、素晴らしい歌をありがとうございました。また来年もお待ちしております。



歌声の余韻を残し記念撮影

○ 倶楽莊

○ 初めての外部研修

介護士 波田野 良介

今回初めて豊老協主催の外部研修を受講させて頂き、とても良い体験になりました。研修内容はコミニケーションについてでした。講師は、東三河で活躍しているフリーアナウンサーの「いいだまき」さんです。

まず、コミニケーションに必要なスキルや要素を教えて頂きました。私は人と話すのが苦手でコミニケーションが不足していたので、今回の研修に参加させてもらえてよかったです。

初めての外部研修でなかなかうまくいかない事もありましたが、この経験を忘れずに、少しでも仕事に活かせるようにならざりたいと思います。

らグループの皆さんそれぞれの意見が自発的に出始め、徐々に内容が始まっています。

最後に、各グループが参加者全員の前で発表することになりました。他のグループが終了して、いいよ自分のグループの出番になりました。全員の前で話すのは人一倍緊張しましたが、とても貴重な機会となりました。

私は人と話すのが苦手で

コミニケーションが不

足していたので、今回の研修に参加させてもらえてよかったです。



○笑顔いっぱい俱楽祭

介護士 浅井 保江

当施設の一大イベント「俱楽祭」を、秋の気配を感じる9月28日に開催しました。荘内で皆さんに楽しんでいただけるように計画しました。

普段は交流の少ない特養とグループホームですが、この日は一緒に楽しめます。皆さんが景品目当てに輪投げ・ボウリングゲームに夢中になつていきました。特にボウリングは、職員も一緒に盛り上りました。

景品に用意したのは、小袋のお菓子詰め合わせと職員手作りの花です。花を手にした瞬間、皆さん笑顔になつてしていました。



手製の提灯も祭りを演出

それから当日のもう一つの楽しみは、やつぱり食べ物。ジユース・フライドポテト・だんご・カレー・三色丼など、お腹一杯食べてもらおうと、一生懸命に準備しました。

職員は半被姿で、少しでも祭り気分を味わつてもらおうと頑張りました。

つづいては、ジユース・フライドポテト・だんご・カレー・三色丼など、お腹一杯食べてもらおうと、一生懸命に準備しました。

○防犯教育講座を受けて

事務員 伊藤 通野

9月27日に、警察OBの講師2名をお招きして防犯教育講座を開きました。お話を中で、2年前の福祉施設大量殺傷事件が事例として出てきましたが、その事件で被害に遭われた方々も、当日を迎えるまではそんな惨事が起こるとは夢にも思わなかつたと思います。

私たちも日々テレビやネットで残酷なニュースを目や耳にしますが、どこか他人事だと思つてはいなでしようか？ 気を付けるべきだと思ったとしても、どうやって気をつければ良いのか分らず、結局は後回しにして



しまいがちです。

しかし、私たちはお年寄りという弱者を守らなくてはならない立場です。そして女性としては、職員ではあつても弱者の側に入ります。自分の身を守る為にも、不審者への対応術を学べて本当に良かったと思います。

ちなみに、不審者への初期対応で大事なことは、「毅然とした態度で接する！」ことだそうです。



毅然として立ち向かう姿

○ベルヴューハイツー

事務員副主任 神田 澄枝

ベルヴューハイツには、
スポーツ芸委員会があり、ス
ポーツを通してリフレッ
シュしたり、他部署との
交流の場で楽しんだりし
ます。今年は、久しぶり
のバーベキュー会。スポ
ーツは無理でも食べる事
ならOKなので、参加さ
せてもらいました。

当時は前日までの雨が
嘘の様に、晴天に恵まれ
て風もなく涼しく、絶好
のバーベキュー日和です。
参加者全員の心掛けが良
かったのでしょう。夕方
六時にスタートすると、
尾頭付き海老を始め、イ
カ・貝・肉・野菜・焼き
そば等々どれも美味しく

のバーベキュー会。スボ
ーツは無理でも食べる事
ならOKなので、参加さ
せてもらいました。

当時は前日までの雨が
嘘の様に、晴天に恵まれ
て風もなく涼しく、絶好
のバーベキュー日和です。
参加者全員の心掛けが良
かったのでしょう。夕方
六時にスタートすると、
尾頭付き海老を始め、イ
カ・貝・肉・野菜・焼き
そば等々どれも美味しく



食欲そそる美味しそうな匂い

○秋のフラダンス体操

デイ介護士 岸山 彰一

すつきりしない日々が
続く中、雨の合間のカラ
ッと晴れた日に、『元町な
かよし会』の皆さんのが慰
問に来られました。

まずは自作の紙芝居。

大型紙芝居での臨場感溢
れる語りに、利用者の皆
さんは深く頷きながら聴
き入っていました。

その後、ガラツと雰囲
気が一変。明るい花柄衣
装にレイをかけた方々が、
ズラツと並びました。始
めはフランダンス調の体操。
とはいって、曲は皆さんよ
く知る『北国之春』です。
利用者の皆さんも一緒に
歌いながら、しつかり体
を動かします。さすが、



会場一体となってフラダンス

普段は縁のない紙芝居
やフランダンス。いつもど
は違う雰囲気を味わわせ
てくださった元町なかよ
し会の皆様、本当にあり
がとうございました。

日頃リハビリで鍛えてい
る皆さんでした。
もちろん、本格的なフ
ラダンスも披露されまし
た。最後の締めは『サザ
エさん体操』で、曲に合
わせて体を動かしました。
歌詞の通り、「今日もいい
天気」になりました。



○吉かわの宝探し

看護師 榎原千絵子

6月に植えた「宝」の苗が、夏の暑さに負けることなく青々と大きな葉をつけると、いよいよ「実りの秋」の到来です。今では恒例行事となつた、吉田方保育園の園児さんと一緒に宝探しを楽しむ日がやってきました。



さつまいもは吉かわの宝です

穫です。老いも若きも関係なく、土のぬくもりを感じながら、夢中で大きな宝物を探しては見つけでは、掘り起こします。畑に入らず様子を眺めていた利用者さんに園児さんが採れたてのお宝を手渡すと、「立派だねい！こりや大きい！」と会話も弾みました。そんな楽しい時間はあつという間に過ぎてしましましたが、今年も見事に宝の山が出来上りました。

園児さんの声が聞こえてくると、デイルームはもうソワソワ。元気一杯の歌を聴くと利用者の皆さんの目尻は自然と下がり、満面の笑みが部屋いっぱいに広がりました。

そんな温かい雰囲気のデイルームから、宝の埋もれている畠へと移動しました。さつまいもの収

○ラグーナでついた自信

特養介護士主任 松下拓郎



アイス片手に上機嫌の方も

その後もおみやげ屋でお菓子をたくさん買い込んだりして、食道楽のバスハイクとなりました。

蒲郡にあるラグーナンボスに、入所者の方たちと出かけきました。麗楽荘がある新城からは車で一時間ほどかかるため、出かける前は「遠いところだ、疲れちゃうかね」「トイレが近いで心配……」などと、多少不安もありました。それでもラグーナに着くと、美味しそうなお寿司や定食がたくさんあり、お昼時間の少し前でしたが、おなかの虫には勝てず早速昼食となりました。

普段はなかなか食べられない大トロ入りのお寿司や海鮮丼が人気で、皆さんもうおなかいっぱい。

事前に心配していた疲れやトイレの心配などはどう吹く風。とても楽しい時間を皆さんで過ごすことができました。

「今度はまた違うところにも行きたいね」とまだ遠くへ出かけられた自信もつき、今後の楽しみが増えてとても良かつたと思います。

○親の意見と茄子の花

デイ介護士 金田 智

七月も晦日を迎える、奥三河特産の天狗茄子を植えてから約一ヶ月が経過しました。鉢植えなので上手く育てられるか心配でしたが、台風にも負けず順調に育っています。利用者さんも荘内歩行運動をしながら気にかけて下さり、「茄子はどうなった?」「葉っぱが大きいね」などと日々の話題になっていました。



気になつたので調べてみると、「親の意見と駄もない」というのもありますと、「親の意見と冷や酒は「親の意見と冷や酒は後で効く」でした。

私は親の言う事を聞くからず「茄子がまま我がまま」に育つてきました。これからは、「人のふり見て我がふり直せ」ならぬ、「茄子の花見て我がふり直せ」を人生訓に生きていくこうと思っています。

○ぜんざい作りと由来

介護士 鈴木 裕佳

和光ハイム毎月1回のおやつ作りでは、何を作りたいか入居者の皆さんに決めてもらいます。

9月は皆さんの希望によつて、ぜんざい作りに決まりました。

小豆をコトコト煮ている間に、白玉粉を食材にしてぜんざいに入れる白玉餅を作つていただきました。

昨年作つたぜんざいは砂糖の加減で少し甘すぎたようですが、今年はちょうど良い甘さでした。「美味しい、美味しい」と甘党の方はおかわりもして、入居者の方同士歓談しながら楽しく召し上がつていました。

始めると、花を見た利用者さんが必ず口にするごとわざがありました。それは、「親の意見と茄子(なすび)の花は千に一つの無駄もない」です。

和光ハイム毎月1回のおやつ作りでは、何を作りたいか入居者の皆さんに決めてもらいます。



好評ぜんざいの味に大満足

和光ハイム

○お彼岸のおはぎ作り

介護士 中村 美里

秋のお彼岸の9月23日、皆さんでおはぎ作りをしました。

お彼岸というと春のイメージですが、年2回のうちの秋彼岸。期間は、秋分の日をお中日とする前後7日間です。ご先祖様に感謝し、生きていく上で良いこと悪いことをきちんと判断できる様に心がける、大切な期間だそうです。

昔こうやつたなと思い出しながら、手馴れた調子でポンポンとおはぎをこしらえます。いい塩梅を延ばす係、それを包む係などが協力し合つて。

おはぎが少し大きく感じられましたが、そんな心配などどこ吹く風とばかり、お皿の上にはあんこも残らず、すべて綺麗にお米をつく係、あんこを延ばす係、それを包む腹に入るようです。

あんこやきな粉の甘い匂いがする中で、山盛りのおはぎが出来上がりました。そして皆さんペロリと平らげる、美味しい顔のあふれるお彼岸お中日となりました。



美味しくできますように…

○「知る」ことの大切さ

介護士 桑山 恵利

ユニットリーダー研修に参加しました。座学は名古屋市の会場で、実地研修は豊川市にあるユニット型特養で、計7日間の勉強をしてきました。

座学では、「ユニットケア」・「暮らしの場の継続」ということで、入居者の24時間の暮らしのサポートといった内容の研修を受けました。

実地研修では、机と椅子の席に座り、入居者と職員の動きを見る「定点観察」の体験。職員が入居者本人の願望とその二、三を先読みする事により、無駄な動きも無く、尚且つその方に「安心感」

を与えていた事に気が付きました。

「ユニットケアの奥深さを知りました。もっと勉強したいです」と担当者に感想を述べたところ、「勉強する必要はありますせん」とはつきり言われました。それは何故か? 「入居者一人ひとりが最高の『教材』なので、その方をもつと知つて理解してあげて下さい。その経験こそが一番の勉強です」との回答に、とても感銘を受けました。

このような貴重な体験をさせて頂いた研修施設に感謝しつつ、これまで以上に入居者さんのことを理解できるよう、自分自身もつともっと成長していきたいと強く決意した研修でした。

奇楽荘

○ GHきらり

RUN伴2018 in 新城

介護士 石橋 加奈子

9月23日に夫婦で参加させていただいたRUN伴(ランとも)とは、今まで認知症の人と接点がなかつた地域の方々や、認知症の人とその家族や、一緒にタスキをつなぎ、日本全国を縦断するイベントです。

今年から新城市でも本格的に開催され、北コースは福川地区の静巣堂病院、南コースは富岡地区の寿楽荘から2コースに分かれてスタート。新市庁舎で合流し、その後は市長を先頭にして、毎月第4曜日に開かれている「のんほいルロット」

Tシャツを着た大集団は圧巻でした。とても繋がりを感じた瞬間でもあります。また今年は、「認知症ケアから始める街づくり」のPR活動にも貢献させて戴きました。



皆さん完走できました!

のゴールを目指します。

総勢200数名のオレンジの

Tシャツを着た大集団は

圧巻でした。とても繋が

りを感じた瞬間でもあり

ました。また今年は、「認

知症ケアから始める街づ

くり」のPR活動にも貢

献させて戴きました。

本 部 日 誌

平成30年9月

11日 公正採用選考人事啓発推進員研修会(板山部長・夏目事務長於 ライフポートとよはし)

12日 本部会議(於 斯美莊)

13日 職場見学(於 BIV-H)

14日 新卒採用選考(於 斯美莊)

15日 新卒採用選考(於 斯美莊)

16日 新卒採用選考(於 斯美莊)

17日 後援会新城理事会(於 斯美莊)

18日 後援会新バス研修会(於 斯美莊)

19日 後援会新バス研修会(於 斯美莊)

20日 平成30年10月 キヤリアバス研修(於 斯美莊)

21日 平成30年10月 キヤリアバス研修(於 斯美莊)

22日 本部会議(於 斯美莊)

23日 本部会議(於 斯美莊)

24日 本部会議(於 斯美莊)

25日 本部会議(於 斯美莊)

26日 本部会議(於 斯美莊)

27日 本部会議(於 斯美莊)

28日 本部会議(於 斯美莊)

29日 本部会議(於 斯美莊)

30日 本部会議(於 斯美莊)

31日 本部会議(於 斯美莊)

作 樂 荘 日 誌

平成30年9月

1日 音楽ボランティア(歌の輪会)

2日 音楽ボランティア(歌の輪会)

3日 音楽ボランティア(歌の輪会)

4日 ガラス絵クラブ(講師 栄名先生)

5日 中野地区民委員定例会(白井主任於 中野地区市民館)

6日 ぶどう狩り(於 岡崎三國観光農園)

7日 福岡地区民委員定例会(白井主任於 福岡地区市民館)

8日 寿司祭り

9日 福岡地区民委員定例会(白井主任於 福岡地区市民館)

10日 給食会議

11日 介護保険事業者講習会(於 ライフポートとよはし)

12日 本部会議(於 斯美莊)

13日 生花クラブ(講師 林先生)

14日 音楽ボランティア(日本の歌愛唱会)

15日 身体拘束廃止委員会(於 福岡市公会堂)

16日 誕生日会

17日 長寿祝賀会

18日 音楽ボランティア(日本の歌愛唱会)

19日 身体拘束廃止委員会(於 福岡市公会堂)

20日 誕生日会

職種別会議(主任ケアマネ)(渡邊於 大清水センター)

グルーピングホーム愛知の森複合型サービス愛知運営推進会議高須於 愛知クリニック

広域的地域ケア会議(白井主任於 大清水センター)

ピアノ演奏会(森野先生)

手芸クラブ(講師 味岡先生)

ガラス絵クラブ(講師 栄名先生)

絵手紙教室(講師 神藤先生)

キヤリアバス研修(於 斯美莊)

手芸クラブ(講師 神藤先生)

ガラス絵クラブ(講師 栄名先生)

音楽ボランティア(おたまじやくしの会)

ガラス絵クラブ(講師 栄名先生)

音楽ボランティア(おたまじやくしの会)

音楽ボランティア(キンコンカン)

感染症対策委員会(内研修)

音楽ボランティア(日本の歌愛唱会)

手芸クラブ(講師 味岡先生)

中野地区民委員定例会(包括 斯美莊)

中野地区市民館(区市民館)

給食会議

中野小学校5年生慰問

動物園外出

本部会議(於 斯美莊)

後援会新城理事会(於 斯美莊)

南部中学校福祉体験学習

音楽ボランティア(包括 斯美莊)

音楽ボランティア(日本の歌愛唱会)

本部会議(於 斯美莊)

後援会新城理事会(於 斯美莊)

美光ハイム指導監査

キヤリアバス研修(於 斯美莊)

ガラス絵クラブ(講師 栄名先生)

麗樂莊日誌

- 4日 平成30年9月
新城市介護認定審査会 夏目香副主任於
新城市役所
- 10日 介護保険事業者講習会(今泉真副主任・小林副主任・海野副主任・嶋副主任・於 ライフボートトよはし)
- 11日 荘内研修茶々俱楽部
- 13日 生け花教室
- 平成30年9月
和光ハイム日誌
- 3日 善道クラブ
- 2日 給食会議
- 3日 善道クラブ
- 4日 第3回糖尿病研修(川上・於 新城文化会館)
- 6日 第5回糖尿病研修(川上・於 新城市民病院)
- 7日 合同運動会
- 10日 秋の防災訓練
- 12日 指導監査
- 14日 徒歩会議
- 16日 木の花会職員旅行A班(→17日)
- 18日 木の花会職員旅行B班(→31日)
- 23日 新城市介護認定審査会(夏目香副主任於 新城市役所)
- 木の花会職員旅行B班(→24日)
- 木の花会職員旅行C班(→31日)
- 30日 木の花会職員旅行C班(→31日)
- 平成30年10月
和光会議
- 1日 生け花クラブ
- 2日 和光会議
- 3日 生け花クラブ
- 4日 平成30年10月
和光会議
- 5日 長寿祝賀会(於 莊内研修茶々俱楽部)
- 6日 葛根湯
- 7日 花園運動会
- 8日 看護師の為の食事介助・経口摂取支援研修
- 9日 葛根湯
- 10日 長寿祝賀会(於 日本福音大学)
- 11日 12日 13日 14日 15日 16日 17日 18日 19日 20日 21日 22日 23日 24日 25日 26日 27日 28日 29日 30日 31日

G H うらわ日誌

- 30日 平成30年9月
和光会議
- 11日 莊内研修茶々俱楽部
- 12日 莊内研修茶々俱楽部
- 13日 莊内研修茶々俱楽部
- 14日 莊内研修茶々俱楽部
- 15日 莊内研修茶々俱楽部
- 16日 莊内研修茶々俱楽部
- 17日 莊内研修茶々俱楽部
- 18日 莊内研修茶々俱楽部
- 19日 莊内研修茶々俱楽部
- 20日 莊内研修茶々俱楽部
- 21日 莊内研修茶々俱楽部
- 22日 莊内研修茶々俱楽部
- 23日 莊内研修茶々俱楽部
- 24日 莊内研修茶々俱楽部
- 25日 莊内研修茶々俱楽部
- 26日 莊内研修茶々俱楽部
- 平成30年10月
和光会議
- 7日 合同運動会
- 10日 秋の防災訓練
- 12日 花園運動会
- 14日 花園運動会
- 16日 花園運動会
- 18日 花園運動会
- 20日 花園運動会
- 22日 花園運動会
- 24日 花園運動会
- 26日 花園運動会
- 28日 花園運動会
- 30日 花園運動会
- 31日 花園運動会

奇樂莊日誌

- まだ20代の頃、某社で
社内報の編集長を命じられ
編集後記で苦労した。
そして今回、本誌編集の
役どころとしては最初に
して最後となる、編集後
記のお鉢が回ってきた。
- 社会福祉法人の広報誌
であるからこそ、掲載記
事や文章表現に神経をつ
かう。後記に至つては、
先ずは何を書いたものか
と呻吟する。今想えれば、
先代理事長のダメ出しが
多かつたのも後書きの内
容と言ひ回しだった。
- 苦労話か裏話かそれと
も時事か日常か、いずれ
の話題にせよ、それは書
き手や読み手、そして法
人への感謝の気持ちに発
するこことばでありたい。
40年以上前的心境から
脱し切れない自分が、
感謝交流を旨とする本誌
の編集を通じて、そんな
心だけは学べたのかも知
れない。
- (S・E)
- 6日 平成30年9月
ハンドミー莊内販売
- 8日 運営推進会議
- 11日 莊内研修茶々俱楽部
- 14日 レインボーハウス莊内販売
- 17日 長寿祝賀会(於 麗樂莊)
- 19日 票投げ
- 22日 誕生日会
- 25日 健康チエフ
- 26日 書道教室
- 平成30年10月
和光会議
- 1日 和光会議
- 4日 体操教室
- 7日 合同運動会
- 10日 秋の防災訓練
- 12日 指導監査
- 14日 矢部地区運動会
- 15日 おやつ作り
- 16日 木の花会職員旅行A班(→17日)
- 17日 書道教室
- 18日 体操教室
- 20日 長寿祝賀会
- 21日 おやつ作り
- 22日 木の花会職員旅行B班(→24日)
- 23日 大正琴教室
- 24日 観舞会
- 25日 木の花会職員旅行C班(→31日)
- 26日 お茶を楽しむ会
- 27日 木の花会職員旅行D班(→31日)
- 28日 木の花会職員旅行E班(→31日)
- 29日 木の花会職員旅行F班(→31日)
- 30日 木の花会職員旅行G班(→31日)

編集後記